



『サルノコシカケ』ってどんなもの？

「サルノコシカケ」というと皆さんはどのようなものを思い浮かべるでしょうか。

下の写真（1，2）はいずれも「サルノコシカケ科」に属しているキノコです。こうして見るとずい分違うものですね。

実は「サルノコシカケ」とは一種類のキノコではなく、一般に半円形から扇形の傘を持ち、木質で硬いキノコの総称なのです。「サルノコシカケ」と呼ばれているキノコの仲間は、681種が記載されています。



写真1 ベッコウタケ



写真2 キンイロアナタケ



『サルノコシカケ』の効能

この仲間は、古くから漢方薬としてきのこが珍重されるものが多いです。近年では抗ガン剤としての可能性やダイオキシンの分解に利用できるのではないかと期待が高まっています。



『サルノコシカケ』のもうひとつの顔とは… ㊦

ところで「サルノコシカケ」は効能とは別の一面も持っています。それは樹木病原菌としての一面です。枯れ木に生える場合は頼もしい分解者なのですが、生きた木にも生えるので大変です。

生きた木に生えると、その木を枯らしたり、その木を腐らせたりして木材の価値を著しく低下させます。



ヒバを『サルノコシカケ』から守るには？ ㊦

東北で最も問題なのはモミサルノコシカケ（写真3）です。これは東北の代表的な樹種であるヒバの幹を溝状に陥没・腐朽させてしまうもの（ヒバ溝腐病：ヒバみぞぐされびょう、写真4、5）です。この病気でヒバが枯れてしまうことはありませんが、材が腐朽するため木材としての価値が著しく低くなります。

ヒバ溝腐病の感染や分布拡大については現在鋭意調査中です。皆さんがヒバ林でモミサルノコシカケを見かけることがありましたら、是非ご一報下さい。



写真3 モミサルノコシカケ

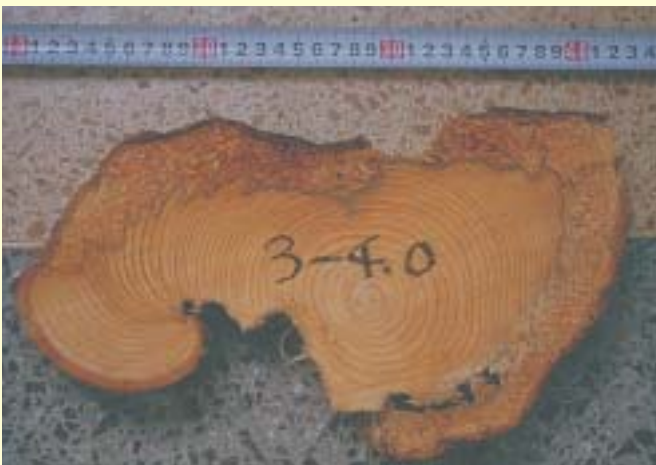


写真5 ヒバ溝腐病により腐朽した円盤

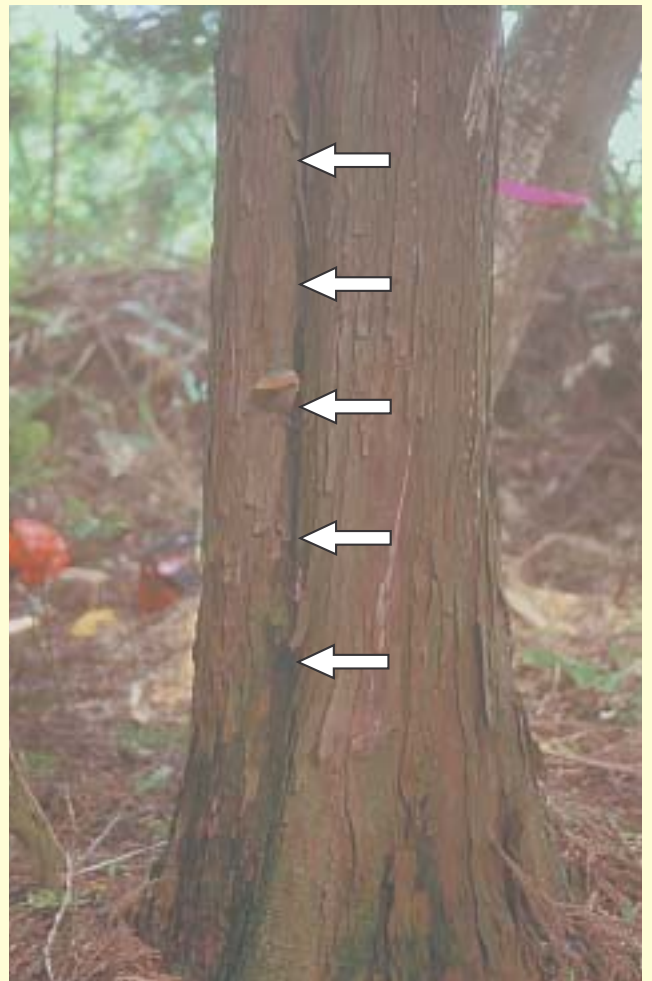


写真4 ヒバ溝腐病

森林総合研究所東北支所

〒020-0123 盛岡市下厨川字鍋屋敷92-25
TEL 019-641-2150 FAX 019-641-6747
ホームページ <http://www.ffpri-thk.affrc.go.jp/>

針葉樹病害チーム 田端雅進